

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

評価日 2021年2月15日

団体名	ぼろ織りを伝えていこう岩村田宿の会		
事業名	SAKU-ORIプロジェクト		
対象経費	1,157,200 円	支援金交付 対象経費	232,200 円
支援金額	116,000 円		

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>本事業は、佐久地域の大正・昭和の生活に必要なであった裂き織技術を復活リニューアル、機織り愛好グループや個人愛好者を中核に公民館活動を通して地域文化とすることを旨し、佐久で行われてきた養蚕やうちおりの歴史、佐久での裂き織り含め、形と技術を後世に残すことを目的として実施した。</p>
	<p>内容</p> <p>ステップ1 機織り機修理・欠品部品の補充事業</p> <p>ステップ2 機織り技術の伝承事業 機織り機の組み立て技術保持者柴平忠春氏(84歳)、技術保持者望月多恵子氏(64歳)の技術を映像として残し又市内の若い皆さんに技術を伝承していただく</p> <p>ステップ3 29台の機織り機のメンテナンスと欠品部品を取りそろえ、佐久地域での佐久織拠点へ織機を提供する事</p>

事業の活動実績	<p>29台の機織り機・欠品部品の補充・修理</p> <ul style="list-style-type: none"> 機織り機械佐久大学様に1台 大日向学園様2台(予約) 風越学園様2台 内山機織り拠点10台 初谷温泉1台 岩村田機織り拠点6台 就労支援施設トライアングル2台設置 <ul style="list-style-type: none"> 7月8月に、織機技術保有の柴平忠春氏(84歳)から若手宮大工へ技術伝承 経糸張り技術や裂き織り技術保持者望月多恵子氏(65歳)と若手織子の育成(7月17日) ぼろ織を伝えていこう岩村田宿による機織り技術伝承(2020年8月24日、9月8日、9月28日、10月6日・13日・20日) 機織り組み立て、佐久のぼろ織機織り技術DVD枚の制作
---------	---



別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援金を活用して機織り29台を修理し、現在、希望のあったところに機織り機を設置している。（風越学園・上田南小学校・大日向小学校・佐久大学・内山機織り場等）今後はこれらの拠点で、機織りに興味のある方を対象に、1か月に2回程度、機織り教室・織姫養成講座を開催予定。 ・ この他、機織り技術を教えていただきたいとの問い合わせが8件あり佐久地域における機織り文化の継承機織り文化の広がりを実感している ・ 制作したDVDは、裂き織等の織り技術や織機組立技術やメンテナンスノウハウを記録・画像化することで、佐久地域全体に機織りを広めるための良い教材ができた。現在、風越学園、佐久大学、佐久市中央図書館、浅科図書館、ぼろ織を伝えていこう岩村田宿の会に配付し、今後のDVD配布予定として、機織りを勉強したい人に貸し出しをしていく。 ・ 本会としても、会員が新たに5名が加入し、機織りの技術の活動を充実させられた。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入 ほぼ達成できました。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入 コロナの影響で大勢の方に集まっていたたくことを避けたため機織り伝承指導の会場に来ていただく方を制限したので少し残念でした</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p>
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も継続的に、機織りができる方の養成、佐久における機織りの定着、佐久市で機織りができる場所を増やしていく。 ・ 「佐久織」と呼べる佐久市独自の織物開発や、ぼろ織を古布再生エコ商品として認知を広げ、有形民俗文化財への取り組みも進めていく。 ・ 佐久大とコラボした、機織りを利用した認知症予防の研究にも協力する。
---------	---